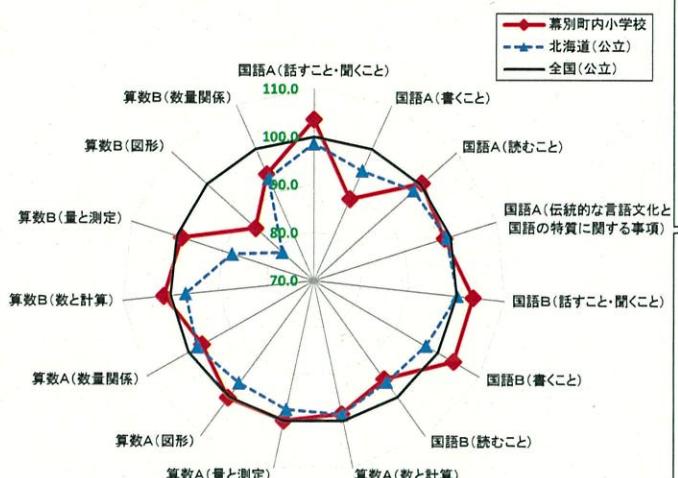


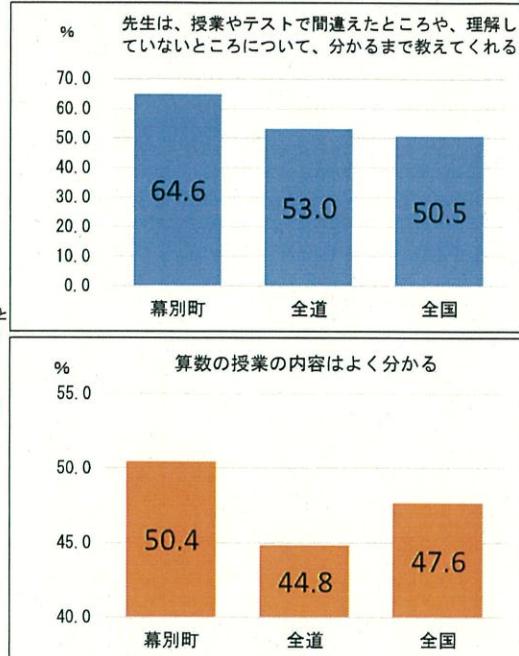
■ 幕別町内小学校の状況及び学力向上策(学校数:9校、児童数:254人)

【教科全体の状況】

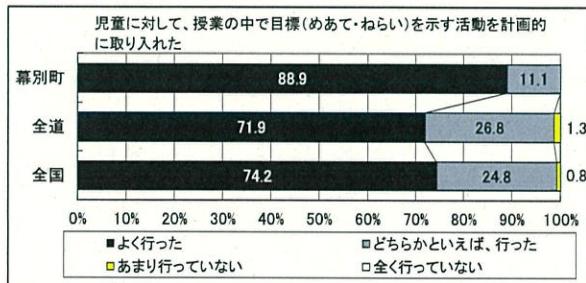
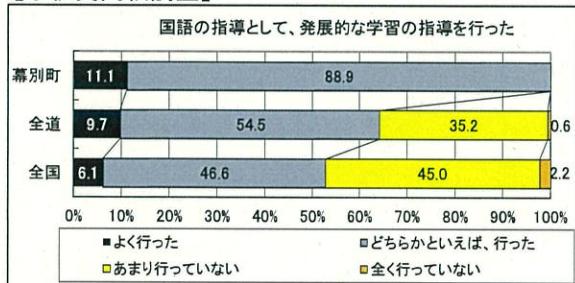
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【児童質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教 科	○ 国語Aでは、「話すこと・聞くこと」「読むこと」、Bでは、「話すこと・聞くこと」「書くこと」で全国を上回っている。
	○ 算数Aでは、「図形」、Bでは、「数と計算」で全国を上回っている。
児童質問紙	○ 「先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれる」と回答した児童の割合が、全国及び全道を上回っている。
	○ 「算数の授業の内容はよく分かる」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。
学校質問紙	○ 「国語の指導として、発展的な学習の指導を行った」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。
	○ 「児童に対して、授業の中で目標(めあて・ねらい)を示す活動を計画的に取り入れた」と回答した学校の割合が、全国を上回っている。

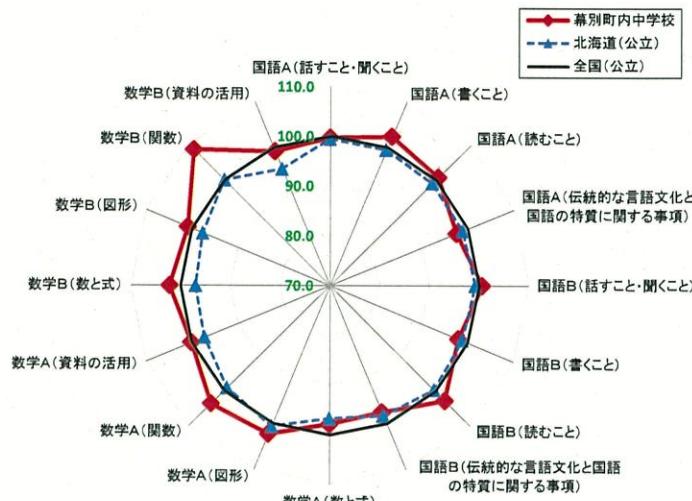
【幕別町の学力向上策】

- 全国学力・学習状況調査等の結果を活用した授業改善及び各教科等における言語活動の充実
- 学力向上に向けた専門的事項を指導する学校教育推進員及び国際交流員による継続的な支援
- 退職教員等の外部人材の活用による少人数指導やT・T、習熟の程度に応じた指導等の個に応じたきめ細かな指導の充実
- 小中一貫教育の推進

■幕別町内中学校の状況及び学力向上策(学校数:5校、生徒数:285人)

【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)

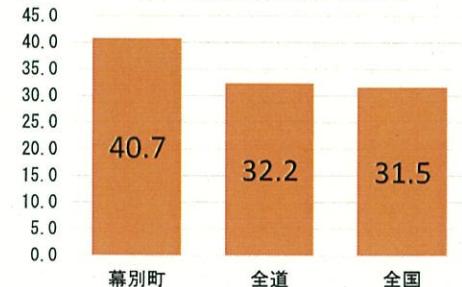


【生徒質問紙調査】

% 国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしている

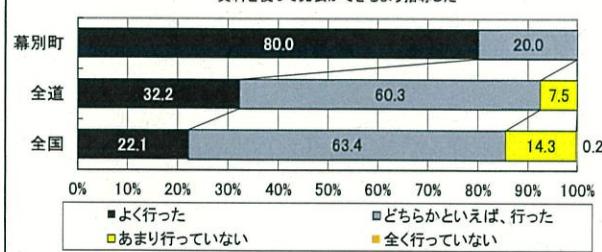


% 数学の授業の内容はよく分かる

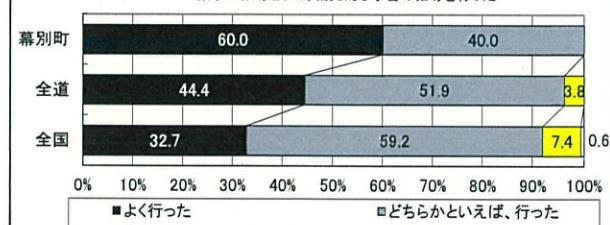


【学校質問紙調査】

資料を使って発表ができるよう指導した



数学の指導として、補充的な学習の指導を行った



【分析】

教 科	<ul style="list-style-type: none"> 国語Aでは、「書くこと」「読むこと」、Bでは、「話すこと・聞くこと」「読むこと」で全国を上回っている。 数学Aでは、「図形」「関数」、Bでは、「数と式」「図形」「関数」で全国を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 各学校で、資料を使って発表ができるよう指導した結果、国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしていると回答した生徒が増え、国語Aの「書くこと」「読むこと」、Bの「話すこと・聞くこと」「読むこと」で全国を上回ったと考えられる。 各学校で、数学の指導として、補充的な指導を行った結果、数学の授業の内容はよく分かることで回答した生徒が増え、数学Aの「図形」「関数」、Bの「数と式」「図形」「関数」で全国を上回ったと考えられる。
生徒質問紙	<ul style="list-style-type: none"> 「国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしている」と回答した生徒の割合が、全国を上回っている。 「数学の授業の内容がよく分かる」と回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回っている。 	
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> 「資料を使って発表ができるよう指導した」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。 「数学の指導として、補充的な学習の指導を行った」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。 	

【幕別町の学力向上策】

- 全国学力・学習状況調査等の結果を活用した授業改善及び各教科等における言語活動の充実
- 学力向上に向けた専門的事項を指導する学校教育推進員及び国際交流員による継続的な支援
- 退職教員等の外部人材の活用による少人数指導やT・T、習熟の程度に応じた指導等の個に応じたきめ細かな指導の充実
- 小中一貫教育の推進

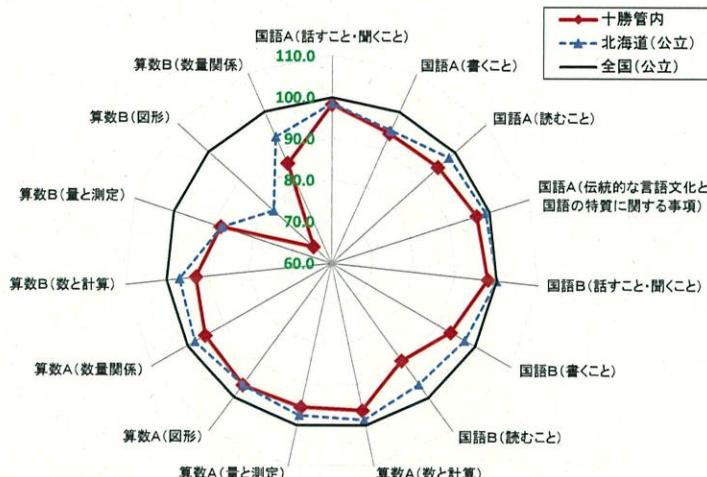
■十勝管内小学校の状況(学校数:94校、児童数:2752人)

【十勝管内の平均正答率】

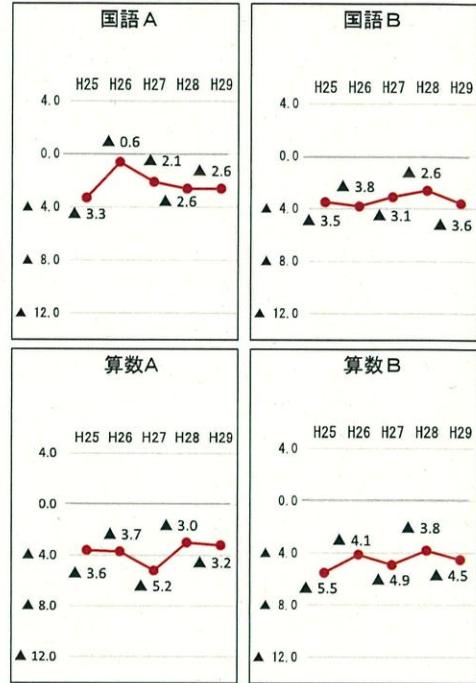
	国語A	国語B	算数A	算数B
十勝	72[72.2]	54[53.9]	75[75.4]	41[41.4]
全国	75[74.8]	58[57.5]	79[78.6]	46[45.9]

【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び管内の状況をレーダーチャートで示したもの
(全道及び管内の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



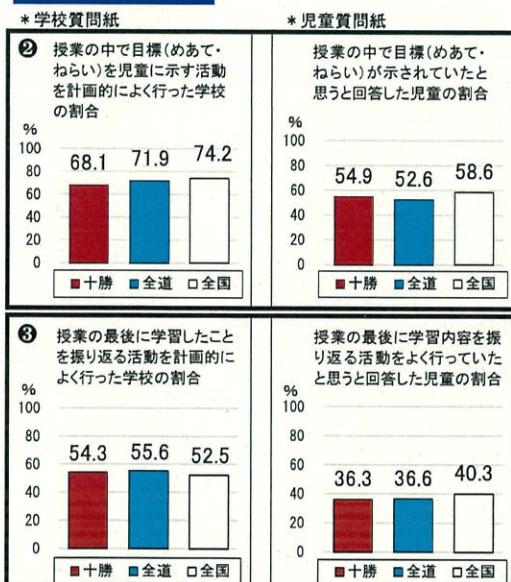
【平均正答率の推移】(数値は管内の数値)



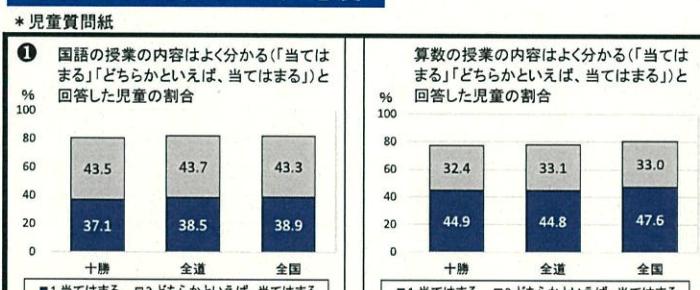
*「管内の平均正答率-全国(公立)の平均正答率」の経年変化

【質問紙の状況】

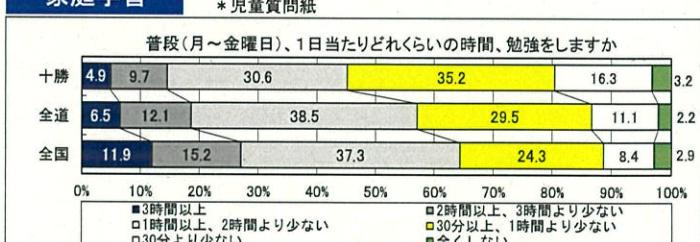
指導方法



学習に対する関心・意欲・態度



家庭学習



【分析及び改善の方向性】

教科	○ 全道の平均正答率と比較し、算数Aの「图形」で同じ、算数Bの「量と測定」で上回っている。
	○ 全道の平均正答率と比較し、国語A・Bのすべての領域で下回っている。特に、国語Bの「読むこと」、算数Bの「图形」で差が大きいことから、指導計画及び指導方法の工夫改善に取り組む必要がある。
	① 授業の内容はよく分かる(「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した児童の割合は国語が80.6%、算数が77.3%であり、いずれも全道を下回っていることから、学習内容の定着を図る時間を設定するとともに、T-Tや習熟度別少人数指導等の個に応じた指導を充実させる必要がある。
質問紙	② 授業の中で目標(めあて・ねらい)を児童に示す活動を計画的によく行った学校の割合は68.1%であるのに対し、授業の中で目標(めあて・ねらい)が示されていたと思うと回答した児童の割合は54.9%であり、13.2ポイントの差があることから、本時の課題が一目で分かる板書の工夫や板書と連動したノート指導について、全校で統一した取組を推進する必要がある。
	③ 授業の最後に学習したことを振り返る活動を計画的によく行った学校の割合は54.3%であるのに対し、授業の最後に学習内容を振り返る活動をよく行っていたと思うと回答した児童の割合は36.3%であり、18.0ポイントの差があることから、授業の終末に本時の授業で分かったことをノートに書いたり、ペアで説明し合ったりする学習活動を位置付ける必要がある。

十勝管内

1市16町2村

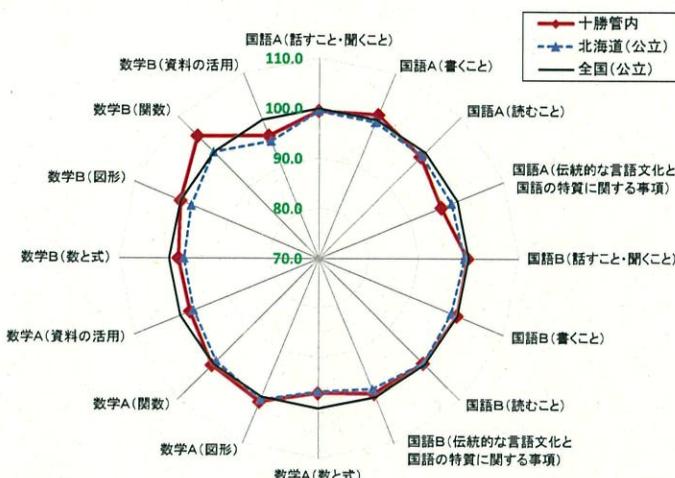
■十勝管内中学校の状況(学校数:48校、生徒数:2877人)

【十勝管内の平均正答率】

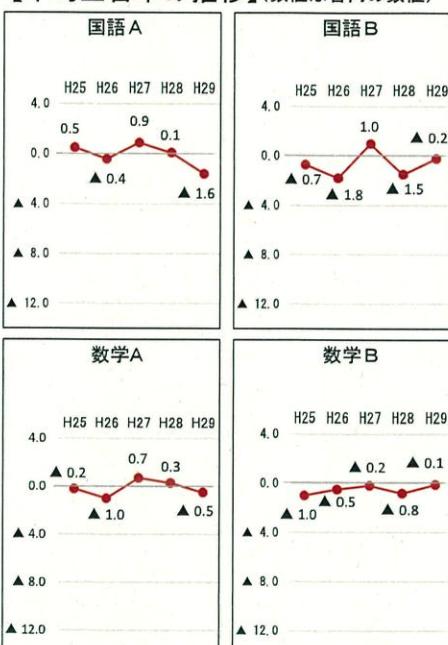
	国語A	国語B	数学A	数学B
十勝	76[75.8]	72[72.0]	64[64.1]	48[48.0]
全国	77[77.4]	72[72.2]	65[64.6]	48[48.1]

【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び管内の状況をレーダーチャートで示したもの
(全道及び管内の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



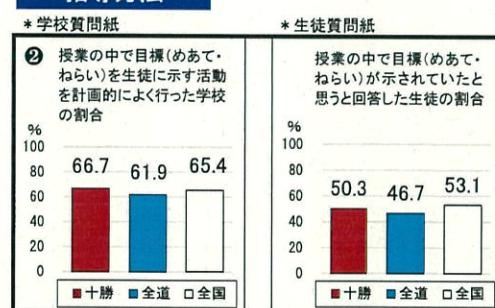
【平均正答率の推移】(数値は管内の数値)



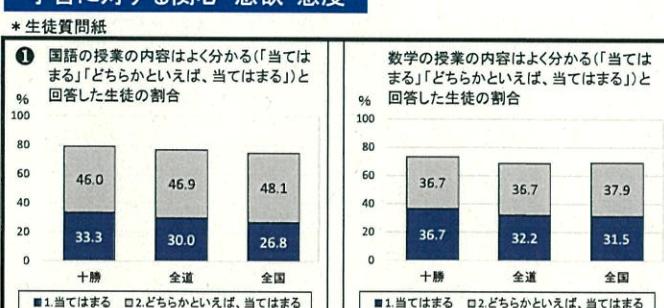
※「管内の平均正答率ー全国(公立)の平均正答率」の経年変化

【質問紙の状況】

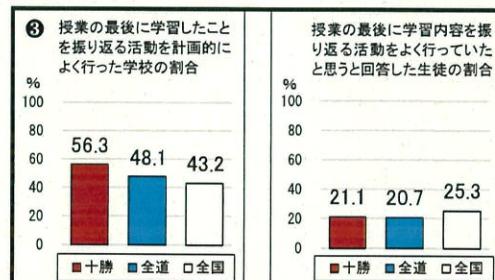
指導方法



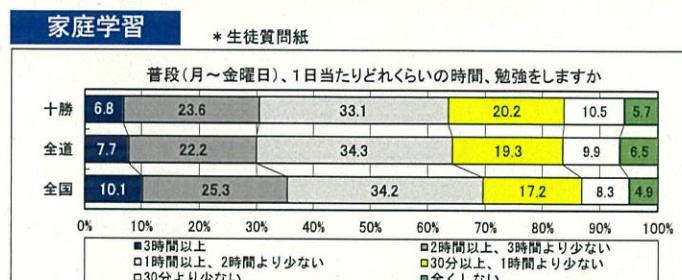
学習に対する関心・意欲・態度



③ 授業の最後に学習したこと振り返る活動を計画的によく行った学校の割合



家庭学習



【分析及び改善の方向性】

教科	○ 全道の平均正答率と比較し、国語B、数学A・Bのすべての領域で上回っており、国語Aの「書くこと」、数学Bの「関数」で差が大きい。
	○ 全道の平均正答率と比較し、国語Aの「読むこと」、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」で下回っていることから、指導計画及び指導方法の工夫改善に取り組む必要がある。
質問紙	① 授業の内容はよく分かる(「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した生徒の割合は国語が79.3%、数学が73.4%であり、いずれも全道を上回っていることから、今後も、分かる授業づくりについて校内研修等で共通理解を図る取組を継続する必要がある。
	② 授業の中で目標(めあて・ねらい)を生徒に示す活動を計画的によく行った学校の割合は66.7%であるのに対し、授業の中で目標(めあて・ねらい)が示されていたと思うと回答した生徒の割合は50.3%であり、16.4ポイントの差があることから、本時の課題が一目で分かる板書の工夫や板書と連動したノート指導について、全校で統一した取組を推進する必要がある。
	③ 授業の最後に学習したことを振り返る活動を計画的によく行っていたと思うと回答した生徒の割合は21.1%であり、35.2ポイントの差があることから、授業の終末に本時の授業で分かったことをノートに書いたり、ペアで説明し合ったりする学習活動を位置付ける必要がある。

全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果

全国体力・運動能力、運動習慣等調査は、児童生徒の体力・運動能力の状況を把握・分析し、その向上についての施策の成果と課題を検証し、学校などでの体育・健康に関する指導などの改善に役立てる

ことを目的に、小学校5年生と中学校2年生を対象に毎年、4月から7月にかけて実施しているものです。

体力・運動能力に関する調査

小学生男子は全国平均をやや下回ったものの女子は上回り、男女ともに握力(筋力)、長座体前屈(柔軟性)およびソフトボール投げ(投力)で全国平均を上回る高い結果となりました。しかし、上体起こし(筋持久力)や50m走(走力)は、課題を残す結果となりました。

中学生は、男子が全国平均を下回り、女子は全国平均とほぼ同様の結果となり、握力

(腕力)や上体起こし(筋持久力)、長座体前屈(柔軟性)に課題を残す結果となりました。

体格に関する調査

小学生は、身長体重とともに男女で全国平均を上回る結果となっており、中学生においても、男女ともに身長体重が全国平均を上回る結果となりました。

運動習慣に関する質問紙調査

質問紙の項目中、「運動やスポーツクラブに所属している」など、運動に興味を持ち、積極的な姿勢が見られる回答が目立ったほか、「オリジナルピック・パラリンピックの内容や歴史が知りたい」など、オリンピックへの関心が高いことが読み取れる回答が多く見受けられました。

◆運動習慣に関する質問紙調査結果 (全道・全国との比較)

運動が好き

	幕別町	全道	全国
小5男子	72.2%	75.8%	73.2%
小5女子	55.7%	59.3%	56.4%
中2男子	65.9%	66.8%	63.4%
中2女子	51.6%	48.6%	47.1%

運動部やスポーツクラブに所属している

	幕別町	全道	全国
小5男子	68.7%	68.3%	79.1%
小5女子	49.6%	42.4%	51.7%
中2男子	78.9%	69.1%	78.4%
中2女子	68.5%	48.0%	58.6%

オリンピック・パラリンピックの内容・歴史を知りたい

	幕別町	全道	全国
小5男子	30.4%	27.3%	26.1%
小5女子	39.1%	30.0%	28.1%
中2男子	10.2%	10.4%	10.9%
中2女子	10.6%	11.1%	11.4%

◆体力・運動能力に関する調査結果(全国との比較)

全国の調査結果に対し、幕別町の結果を比較した一覧です。

▲上回っている ▶概ね同様 ▼下回っている

種目	判定項目	小5男子	小5女子	中2男子	中2女子
握力	筋力	▲	▲	▼	▼
上体起こし	筋持久力	▼	▼	▼	▼
長座体前屈	柔軟性	▲	▲	▼	▼
反復横跳び	敏捷性	▼	▲	▼	▲
シャトルラン	全身持久力	▼	▲	▼	▲
50メートル走	走力	▼	▼	▼	▶
立ち幅跳び	跳躍力	▼	▲	▼	▲
ボール投げ	投力	▲	▲	▶	▲
持久走	全身持久力	▼	▼	▲	▲

◆体格に関する調査結果(全国との比較)

項目	小5男子		小5女子	
	身長	体重	身長	体重
幕別町	139.00cm	35.83kg	140.74cm	34.92kg
全国	138.88cm	34.05kg	140.08cm	33.95kg

項目	中2男子		中2女子	
	身長	体重	身長	体重
幕別町	160.75cm	49.11kg	156.53cm	47.89kg
全国	159.98cm	48.58kg	154.87cm	46.71kg

問 教育委員会学校教育課(☎ 54-2006)